

幼児教育・保育の無償化に関する要望

内閣総理大臣 安倍晋三 様

幼児教育・保育の無償化は、国際的潮流であり、その前進を強く望むものですが、今回の無償化提案には、懸念すべき事項があります。

子どもの権利を拡充するために、以下のように要望します。

① 給食食材料費の実費徴収化には反対です。

保育所は制度発足以来、3歳以上児の副食費、3歳未満児の副・主食費を公費負担の対象にしてきました。さらに、3歳以上児の主食費の公費負担化が、求められてきたのです。

食材料費全体の実費負担化は、その保育関係者の願いに逆行するものであり、児童福祉として明らかな後退です。なにより、低所得者層を中心に負担増を引き起こしかねず、無償化と矛盾しています。

給食は保育の一環です。実費徴収となれば、保育の現場で様々な問題が生じます。保育における給食・食育の重要性や、子どもの貧困状況などを考えると、実費徴収化ではなく、給食を実施している幼稚園も含め、すべての子どもの食材料費を、公費負担・無償化の対象にしてください。

② 0～2歳児なども含め、無償化の対象を拡大してください。

③ 無償化に財源をとられることで、保育の質的量的拡充が停滞することがないように、国として十分な予算を確保してください。

④ 公立保育所等の無償化についても、自治体負担が増すことがないように、必要な措置を講じてください。

氏名・団体名	住所・所在地